

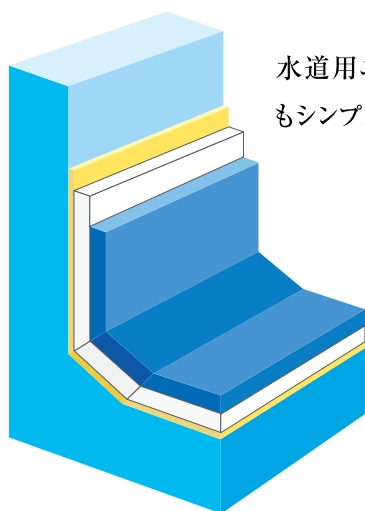
# 上水道エポキシ樹脂ライニングNR工法

当工法は、上水道施設の池状コンクリート構造物（配水池、浄水池、沈殿地、受水槽等）にエポキシ樹脂ライニングを施工し、水質の安全性を確保した各種池、槽の防食・防水を目的とするものです。

当社では、日本水道協会JWWA規格（JWWA K-143）に合格したエポキシ樹脂上塗り材「ニューアルプライナーL」及びエポキシ樹脂パテ材「アルプロンL-7070」を使用した防食塗装方法“NR-A工法”ならびにガラスクロスを併用しライニング層をより強化したFRPライニング“NR-AG工法”があります。

## NR工法の標準仕様

### NR-A



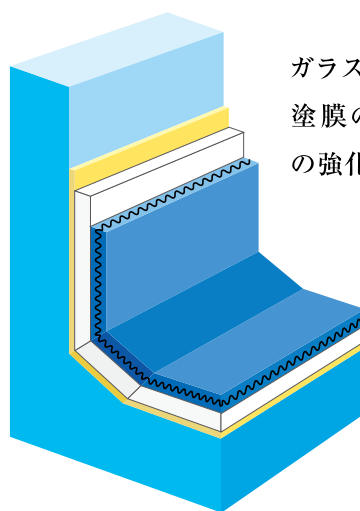
水道用エポキシ樹脂による最もシンプルな防食工法です。

工程	材料名	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗布間隔 (20℃)	塗布方法
プライマー	アルプロン W-305	0.15	1時間 ～7日	刷毛・ ローラー刷毛・ エアレス
素地調整 (パテ処理)	アルプロン L-7070	0.50	6時間 ～7日	ゴムヘラ・ 金コテ
上塗り (1回目)	ニューアルプライナー L	0.35	12時間 ～7日	ローラー刷毛・ ゴムヘラ
上塗り (2回目)	ニューアルプライナー L	0.35	—	刷毛・ ローラー刷毛

※標準膜厚：0.5mm



### NR-AG



ガラスクロスをサンドイッチし、塗膜の厚みの確保と防食膜の強化を行う工法です。

工程	材料名	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗布間隔 (20℃)	塗布方法
プライマー	アルプロン W-305	0.15	1時間 ～7日	刷毛・ ローラー刷毛・ エアレス
素地調整 (パテ処理)	アルプロン L-7070	0.50	6時間 ～7日	ゴムヘラ・ 金コテ
補強層	ニューアルプライナー L	0.70	12時間 ～7日	刷毛・ ローラー刷毛
	ガラスクロス EPF-21A	1.1m <sup>2</sup>		
上塗り	ニューアルプライナー L	0.35	—	刷毛・ ローラー刷毛

※標準膜厚：0.8mm





▲施工前

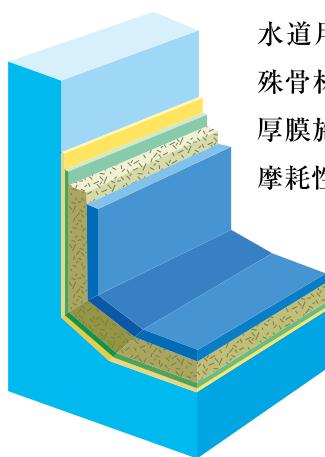


施工後

## 当工法の特長

新設の槽及び、既設コンクリート槽の改修工事で、下地コンクリートの乾燥が十分確保できない場合でも、湿潤面に対して接着性がすぐれているプライマー「アルプロンW-305」の使用により、下地の乾燥を待つ必要がなくなります。

## NR-AM



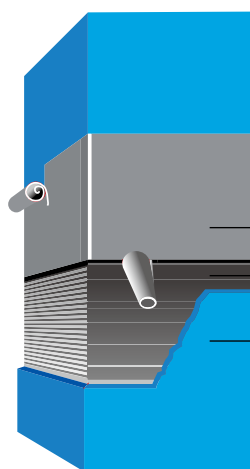
水道用エポキシ樹脂と珪砂と特殊骨材を混ぜ合せ、コテ塗りにて厚膜施工ができる、強度のある耐摩耗性にすぐれた工法です。

工程	材料名	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗布間隔 (20℃)	塗布方法
プライマー	アルプロン W-305	0.15	1時間 ~7日	刷毛・ローラー刷毛・エアレス
タックコート	アルプロン L-779	0.30	即	ローラー刷毛・ゴムヘラ
軽量レジンモルタル	アルプロン L-779 珪砂・特殊骨材 1:1:1	5.00	12時間 ~7日	金コテ
上塗り	ニューアルプライナー L	0.40	—	刷毛・ローラー刷毛

※標準膜厚：5mm



## NR-ACF



水道用エポキシ樹脂と炭素繊維の複合体でコンクリート躯体を補強する工法です。

— 曲げ補強用炭素繊維シート

— せん断補強用炭素繊維シート  
又は、炭素繊維ストランド

— 仕上げ層

工程	材料名	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗布間隔 (20℃)	塗布方法
プライマー	アルプロン W-305	0.15	1時間 ~7日	刷毛・ローラー刷毛・エアレス
素地調整 (パテ処理)	アルプロン L-7070	0.50	6時間 ~7日	ゴムヘラ・金コテ
補強層	ニューアルプライナー L 炭素繊維シート	0.70 1.1m <sup>2</sup>	12時間 ~7日	ローラー刷毛・ゴムヘラ
上塗り	ニューアルプライナー L	0.40	—	刷毛・ローラー刷毛

※標準膜厚：0.8mm

